

ポイント

3 出口の確保

〈普段の対策〉

出入り口に物を置かないようにする

マンションの場合：ベランダからの避難ができなくなるため、隔壁ボード付近に物を置かないようにする



最初の揺れが収まって、揺れによってドアが開かなくなる場合があるので、できるだけ早く玄関などのドアを開けておきましょう。

エレベーターでの避難はしないようにする

揺れが収まってエレベーターが動いていても、故障や、停止することがある



ポイント

4 火の始末

東日本大震災では、原因が特定された火災の過半数が電気によるものでした。

地震による火災には、ガス管や電気配線が損傷したり、暖房器具に可燃物が接触したりすることで発生する「発生直後の火災」があります。

また、停電後に電気が復旧した際、切れた電源コードがショートすることなどで起こる「通電火災」もあります。

〈普段の対策〉

- ・消火器や消火スプレー等を設置し、防災訓練などに参加して使用方法を確認しておく



揺れている時に無理に火を消そうとしない！揺れが収まってからガス器具やストーブの火を消しましょう。

- ・ストーブの近くに可燃物を置かない、燃えやすいものが落ちたり倒れたりしないように注意する



〈停電になったら〉

電化製品のスイッチを切り、避難する時は「ブレーカー」を落とす

- ・地震になったら、自動的に電気を止める「感震ブレーカー」も有効

